

令和3年度 福井市社会福祉協議会事業計画

■ 基本方針

新型コロナウイルスの感染拡大により、人との接触、対面活動が制約され、地域活動にも大きな影響が出ています。また、収入の減少や失業等により生活困窮者が増え、生活福祉資金の特例貸付が飛躍的に増加し、本会においてもその支援に努めているところです。

国では、「地域共生社会」の実現をめざし、令和2年の社会福祉法の改正において、市町村における包括的な支援体制の構築を推進するため、「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に行う「重層的支援体制整備事業」を創設しました。

本会においても、地域福祉の推進を目的とする団体として、地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる地域づくり、住民参加と関係者との連携協働がますます求められているところです。

また、持続可能な開発目標（SDGs）は、「誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを進める」という本会の理念とも合致したものです。地域のあらゆる組織との連携・協働を図っていくため、SDGsを事業活動に位置付け、取り組んでいきます。

コロナ禍の収束が見通せない中、引き続きすべての事業活動で、新型コロナウイルス感染防止に取り組みながら、各種事業活動を行っていきます。

■ 重点目標

1 第4次地域福祉活動計画の策定

第3次地域福祉活動計画の年次計画に基づき、更なる地域福祉活動の向上を図るとともに、第4次地域福祉活動計画を策定する。

2 中期経営計画の策定

財政安定化計画の実施計画に基づき、財源確保と経費削減を着実に行うとともに、今後の中期的な方針を示した中期経営計画の策定を行う。

3 権利擁護事業の拡充

成年後見利用促進のための中核機関の受託を視野に、法人後見事業の実施や成年後見制度の普及、利用支援を行う。

■ 事業計画

I 法人運営事業

1 法人運営事業

(予算) 176,947 千円

(財源) 会費収入 16,599 千円、分担金収入 1,151 千円、補助金収入 80,000 千円、
雑収入 2,363 千円、前期末支払資金残高 67,587千円他

地域福祉の推進を目的とした公共性の高い団体として、事業を确实、効果的かつ適正に行うため、経営基盤の強化と事業やサービスの質の向上を図り、住民に信頼される組織運営をめざします。

(1) 法人運営の強化

- ① 三役会の開催 5回
- ② 理事会、評議員会の開催
理事会 5回
評議員会 4回
- ③ 役員研修の実施
- ④ 評議員選定委員会の開催
- ⑤ 監事監査の実施
- ⑥ 福祉サービスに関する苦情解決の推進
- ⑦ 情報セキュリティ対策の実施
- ⑧ 弁護士、会計事務所との顧問契約
- ⑨ ホームページ、SNSによる情報提供

(2) 財政安定化計画の推進

進行管理会議の開催 4回

⑨ (3) 中期経営計画の策定

地域福祉を推進する中核的な組織として、事業、組織、財務についての中期的な目標、取り組みを明らかにした計画を策定します。

(4) 人材育成

- ① 職員研修の実施
- ② 外部研修の計画的な実施
- ③ 人事考課の実施

(5) 労働安全衛生対策

- ① 衛生管理者の設置
- ② 産業医の委嘱
- ③ 衛生委員会の開催
- ④ ストレスチェックの実施

(6) 法人連携の推進

- ① 福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会への参加
- ② ふく福くらしサポート事業の実施
- ③ 福井市内社会福祉法人との情報交換会の開催

(7) 共同募金運動への協力

福井市共同募金委員会の事務局を担い、運動への支援を行います。

- ① 運営委員会の開催（4回）
- ② 審査委員会の開催（1回）
- ③ 募金運動（一般募金、歳末たすけあい募金）の実施

2 基金運営事業

（予算）2,569千円

（財源）基金積立資産取崩収入 2,129千円、受取利息配当金収入 436千円他

地区社協活動 啓発・ふれあい事業、オープンサロンふらっとベル事業の財源として、地域福祉基金を活用します。

II 地域福祉推進事業

1 地域福祉活動推進事業(SDGs 目標 3.11.16.17)

（予算）54,015千円

（財源）会費収入 27,783千円、寄付金収入 146千円、負担金収入 96千円
拠点区分間繰入金収入 25,990千円

誰もが、安心して暮らし続けることができるよう地区社協を核に、福祉委員、民生委員児童委員、自治会などの関係者とともに地域福祉活動を進めます。

最終年に入る第3次地域福祉活動計画のまとめを行い、第4次地域福祉活動計画を策定します。また、策定にあたり関係機関・団体との懇談会等を開催し、市民の意見を計画に反映させます。

(1) 地区社協の育成支援

- ① 地区社協ブロック担当制による支援強化、会議への参加・支援
- ② ブロック会議等を通じた情報交換と活動の充実
- ③ 課題解決ミーティングの開催
- ④ 地区社協運営・事業推進のための活動費の助成
- ⑤ 地区のニーズに応じたボランティア講座の開催（活動計画No.1）
- ⑥ 地区でのボランティア募集とマッチング（活動計画No.2）
- ⑦ 地区社協活動の情報受発信の改善（地区社協専用ページの活用）
（活動計画No.15）

(2) ひとり暮らし高齢者等の見守り支援活動の推進強化

- ① 新任福祉委員委嘱式及び研修会の開催
- ② 見守り強化のための市や関係機関との協議
- ③ 地域包括支援センター等関係機関との連携の強化
- ④ 地区社協単位での福祉委員、民生委員児童委員、自治会長、保健衛生推進員及びその他見守り関係者の情報交換の場の設定
 - ア 見守り支え合い情報交換会の開催
 - イ 地域包括支援センターとの連携
 - ウ 福祉委員及び見守り関係者の合同研修会の開催
 - エ 市危機管理課との連携（福井市避難支援プラン）
- ⑤ 自治会型デイホーム、食事サービス事業を通じた見守りの推進

- ⑥ 支え合いマップ作成のためのツールの提供及び作成の支援
- ⑦ 福祉委員ハンドブックの活用
- ⑧ 新型コロナに対応した福祉委員スキルアップ研修会の開催
(活動計画No.17)
- ⑨ 「福井市あんしん見守りネットワーク」及び「徘徊見守りネットワーク事業」への協力
- (3) 地区社協連絡協議会、ブロック地区社協の育成支援
 - ① 会長情報交換会の開催
 - ② 支え合いの地域づくり研修の開催(地域の宝発見)
 - ③ 地区社協活動詳細版説明会の開催
 - ④ 新型コロナに対応した研修会等の開催
- (4) 「地区社協活動 啓発・ふれあい事業」の実施
- (5) 各種地域福祉活動の推進
 - ① 県介護実習普及センターとの連携による介護講習会・介護予防講習会の協力の協力
 - ② 市地域包括ケア推進課との連携によるひとり歩き模擬訓練への協力
 - ③ 社会貢献お見合い事業「社会貢献活動セミナー」の開催(活動計画No.6)
 - ④ 中高生向けまちづくりワークショップの実施(活動計画No.4)
- (6) 社会参加、交流の場(活動計画No.10)
 - ① 中央いきいきサロン(毎週金曜日 13:00~16:00)
 - ② オープンサロンふらっとベル(毎週火~木曜日 13:00~16:00)
- (7) 第3次地域福祉活動計画の推進
 - ① 第3次地域福祉活動計画20の取り組みの準備、企画、実施
 - ② 第3次地域福祉活動計画に係る地域福祉活動推進会議の開催
- ⑧ (8) 第4次地域福祉活動計画の策定
 - ① 第4次地域福祉活動計画策定委員会の開催 6回
 - ② 関係機関・団体懇談会等の開催 4回
 - ③ 計画冊子の発行

2 自治会型デイホーム事業(SDGs 目標 3.11)

(予算) 73,907 千円

(財源) 受託金収入 71,623 千円、拠点区分間繰入金収入 2,256 千円 他

地区ごとに配置した専任職員が住民参加型の介護予防事業を、毎月5回以上開催します。地区社協等多くの住民や関係者の協力を得ながら内容を充実し、参加者の増加を目指します。

- (1) 自治会型デイホーム協力者へ新型コロナに対応したフレイル予防の啓発
- (2) 専任職員研修会・定例会の開催
- (3) 自治会型デイホーム利用促進事業としての講座開催
- (4) 教養講座の推進
- (5) 介護予防体操の推進
- (6) 自治会型デイホーム会場での「福井市元気度調査」の実施及び普及啓発
- (7) 認知症サポーター養成講座の開催(随時)
- (8) 感染防止用消毒液の配付

3 ふれあい食事サービス事業(SDGs 目標 3.11)

(予算) 4,803 千円

(財源) 会費収入 3,117 千円、受託金収入 1,685 千円他

ひとり暮らし高齢者等を対象に、高齢者の健康の増進や孤独感の解消、安否確認の一環として配食や会食会を地区ごとに実施します。

- (1) 地区社協単位での配食及び会食会の実施
- (2) 新型コロナに対応した衛生管理と使い捨て手袋とマスクの配付

4 ボランティアセンター事業(SDGs 目標 4.10.11.17)

(予算) 7,571 千円

(財源) 会費収入 648 千円、補助金収入 400 千円、拠点区分間繰入金収入 6,505 千円他

(1) ボランティア活動推進事業

ボランティア活動への関心や参加をより高めるための情報発信とボランティア団体が活動しやすい環境づくりを行います。

また、地域の身近なところで福祉教育を推進するための講座や企画を行います。

① ボランティア活動に関する情報発信

ア ボランティア情報紙の発行 年6回

イ ホームページ、フェイスブックでのボランティア活動紹介

② 福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体の登録更新

③ 雪かきボランティア活動の実施

④ 新型コロナ対策を講じたボランティアルーム等の利用促進

⑤ 中高生向けまちづくりワークショップの実施(活動計画No.4)

⑥ 市教職員目的別研修の実施

⑦ 小・中・高等学校を対象とした福祉教育の推進

総合的な学習の時間を実施する小・中・高等学校への支援

⑧ 児童・生徒のキャリア教育プログラムの実施

⑨ 地域(まち)の担い手プロジェクトへの協力

(2) つながりの輪づくり推進事業

人と人とのつながりを大切にした地域ぐるみの支え合いを推進するための講座や企画を新型コロナ対策を講じて行います。

① お話し相手ボランティアスキルアップの開催

② 高校生ボランティア体験の場づくり(活動計画No.7)

③ ボランティアコーディネーション研修会の開催(活動計画No.19)

(市総合ボランティアセンターとの共催)

④ 自治会型デイホーム向け特技・技能ボランティアのコーディネート

⑤ 男性のボランティア活動の推進(活動計画No.9)

5 共同募金配分金事業(SDGs 目標 11)

(予算) 9,157 千円

(財源) 一般募金配分収入 8,744 千円、歳末たすけあい配分収入 313 千円他

福井市共同募金委員会からの助成を受けて、以下の事業を実施します。

- (1) 広報啓発事業
 - ① ボランティア情報紙の発行（年6回）
 - ② 社協だより「まごころ」の発行と全戸配布（年4回）
 - ③ 地区社協活動 啓発・ふれあい事業への助成
- (2) 見守り支援事業
 - ① 福祉委員活動推進事業補助金の交付
 - ② 福祉委員委嘱式及び研修会の開催
 - ③ 福祉委員スキルアップ研修会の開催
 - ④ 子ども福祉委員事業の実施
- (3) 地域福祉活性化事業（49 地区社協への助成）
- (4) 子育て支援事業
- (5) 歳末たすけあい配分事業
 - ① 地域支え合いマップの作成
- (6) 緊急災害援護配分事業

6 日常生活自立支援事業(SDGs 目標 10.11)

(予算) 17,458 千円

(財源) 受託金収入 14,051 千円、事業収入 1,864 千円、
拠点区分間繰入金収入 1,543 千円

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に生活支援員を派遣し、福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いをして、安心できる暮らしを支援します。必要に応じて成年後見制度に適切につながります。

- (1) 福祉サービス利用援助の実施
- (2) 日常的な金銭管理サービスの実施
- (3) 書類等預かりサービスの実施
- (4) 連絡会・研修会への参加

7 生活福祉資金貸付事業（SDGs 目標 1.2.3）

(予算) 3,383 千円

(財源) 受託金収入 3,383 千円

- (1) 失業者世帯に対する総合支援資金、低所得世帯・障がい者世帯・高齢者世帯に対する福祉資金、教育支援資金等の貸付と償還指導
- (2) 生活困窮者自立支援相談窓口等関係機関との連携、連絡、調整
- (3) 臨時特例つなぎ資金の資金貸付事務
- (4) 新型コロナ特例貸付事務

8 法人後見事業(SDGs 目標 10.11)

(予算) 2,802 千円

(財源) 会費収入 2,801 千円、後見報酬収入 1 千円

法人後見事業を実施し、日常生活自立支援事業とあわせ、判断能力が低下した方の権利擁護を推進します。

Ⅲ 子ども・子育て支援事業

1 児童館事業(SDGs 目標 16)

(予算) 197,420 千円

(財源) 受託金収入 173,040 千円、前期末支払資金残高 24,380 千円

児童館の指定管理者として、地域の関係団体との連携を図りながら、子どもたちが安全・安心に利用することができるよう、適切な施設運営を行います。

(1) 児童館事業の推進 (指定管理受託 25 児童館)

- ① 児童館館長会議の開催 (年 6 回)
- ② 児童館運営委員長会議の開催
- ③ 職員研修の実施
 - ア 児童館長研修
 - イ 児童厚生員研修
 - ウ 児童館長・厚生員共通研修
- ④ 広報・啓発活動の推進
 - ア 児童館専用ホームページによる行事紹介
 - イ 児童館パンフレットの発行
 - ウ 児童館だよりの自治会への回覧
 - エ 関係機関との連携による広報啓発活動
 - オ 児童館事業周知啓発チラシの中学校への配布
 - カ 出前児童館の実施
- ⑤ 相談機能の強化
- ⑥ 地域の諸団体、公民館等と連携した事業の取組みの強化
- ⑦ 学校、保育園と連携した事業の取組みの強化
- ⑧ 中・高・大学生のボランティアの受入促進
- ⑨ 児童館でのアンケート実施
- ⑩ 児童館施設修繕・保守点検業務の実施
- ⑪ 児童館の安全対策
 - 避難訓練の実施 (毎月)

(2) 移動児童館事業

もくせい児童館を拠点に、一乗、上文殊、六条の各公民館を利用して遊びを提供する移動児童館事業を行います。

(3) 「げんキッズ育成事業」の受託 3 箇所

「さくらじどうかん」(春山小学校内)、「あじさいじどうかん」(足羽小学校内)、「さつきじどうかん」(旭小学校内)の3館を運営し、主に乳幼児や小学生を対象とした地域の居場所づくりを行います。

2 放課後児童会事業(SDGs 目標 16)

(予算) 195,122 千円

(財源) 受託金収入 183,686 千円、前期末支払資金残高 11,436 千円

放課後児童会では、昼間、保護者のいない小学校の留守家庭児童を対象に放課後の生活の場を提供し、児童の健全育成活動を行います。

また、子ども・子育て支援新制度において定められる放課後児童支援員の資格

取得者を増やすとともに、支援員の研修を通じて放課後児童会に従事する職員の更なる資質向上を図ります。

- (1) 安全対策
災害・不審者対応の避難訓練の実施
- (2) 支援員の資質向上
 - ① 放課後児童支援員認定研修の受講促進
 - ② 放課後児童支援員研修の開催
 - ③ キャリアアップ処遇改善事業の実施
- (3) 放課後児童会のしおりの発行
- (4) 気がかりな児童やその保護者に対する支援の強化
放課後児童会カウンセラー派遣事業の実施

3 放課後児童クラブ事業(SDGs 目標 16)

(予算) 21,958 千円

(財源) 受託金収入 15,054 千円、利用料収入 4,000 千円

前期末支払資金残高 2,904 千円

「さざんかクラブ」(木田小学校内)、「こすもすクラブ」(日之出小学校内)、「あさがおクラブ」(麻生津小学校内)の3児童クラブを運営し、放課後児童の生活の場として、安全、安心な事業運営を行います。

放課後児童会支援員と同様に、研修を通じて放課後児童クラブに従事する職員の更なる資質向上を図ります。

4 地域子育て支援拠点事業(SDGs 目標 16)

(予算) 5,038 千円

(財源) 受託金収入 5,035 千円、前期末支払資金残高 3 千円

福井市清水健康管理センター内に子育て支援室「赤とんぼ」を開設し、乳幼児とその保護者に遊び場と情報交換の機会を提供して子育て家庭を支援します。(新型コロナ対策のため利用を制限して実施。)

開催日 毎週月～金曜日 10:00～16:00

会場 福井市清水健康管理センター内 子育て支援室「赤とんぼ」

5 子育てひろば事業(SDGs 目標 16)

(予算) 300 千円

(財源) 前期末支払資金残高 300 千円

福井市内の児童館で毎週木曜日に、乳幼児とその家族を対象に、遊びの場、交流の場として、子育てひろばを開催し、子育て家庭を支援します。

(新型コロナ対策のため利用を制限して実施。)

開催日 毎週木曜日 10:00～11:30

会場 福井市内 28 児童館

6 ことばの教室運営事業(SDGs 目標 4)

(予算) 7,899 千円

(財源) 受託金収入 7,899 千円

ことばの発達が気になる幼児とその保護者に対し、医療機関受診までの期間、専門の指導員が、ことばの発達をはじめ、こどもの特性に合わせた療育支援を行います。

開催日 毎週月～木曜日 9:00～17:00

会場 フェニックス・プラザ2階 福井市ことばの教室

IV 駐車場運営事業

(予算) 260 千円

(財源) 事業収入 240 千円、前期末支払資金残高 20 千円

収益事業として駐車場の運営を行います。

V 自動販売機設置運営事業

(予算) 110 千円

(財源) 事業収入 110 千円

収益事業として自動販売機の設置拡大を行います。